

# 学校読書活動の取組【綾部市立中筋小学校】

## 1 実践テーマ

「読書の質を高め、読書の幅を広げることを目指して～児童が主体的に活用できる学校図書館～」

## 2 学校の概況

本校は、綾部市の西部、市を東西に流れる由良川の南側に位置しています。校区の西側は福知山市に隣接し、農地と住宅が入り交じった地域ですが、近年、特に校区の東部に新興住宅地が増え、児童数が増加してきました。また、「中筋幼稚園」が隣接しており、園児と児童の交流もよく行われます。



本校は綾部中学校ブロックに属し、「自立と貢献～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～」という共通の教育目標を掲げ、幼・小・中学校が系統的・一貫的な指導ができるよう、取組を進めています。地域の方々は学校の教育の推進に協力的であり、読み聞かせボランティアや見守り隊活動、ゲストティーチャーなど多くの場面においてご支援いただいています。

令和元年度の在籍児童数は 301 名、特別支援学級 4 学級を含む 15 学級という規模の学校です。

## 3 実践内容

### (1) 児童が利用したくなる図書室づくり

#### ア 日本十進分類法による図書配置

- 11 種類の分類表示板を天井からの吊り下げ方式で掲示しました。また、約 100 種類の仕切り板を設置し、分類番号ごとに図書を配置することで図書検索ができるようにしました。

分類表示板



#### イ 絵本コーナーの配置方法の変更

- 日本文学と同様に五十音別の仕切り板を作成し、配置しました。背表紙の分類ラベルの書き換えも行い、児童が自分で正しい場所に図書を戻すことができるようにしました。また、「民話」「昔話」は別置とし、授業で活用しやすくしました。



五十音別の仕切り板

#### ウ 別置コーナーの設置

- 図書室内に3つの別置コーナーを設置しました。「小学生が選ぶこどもの本総選挙ベスト10コーナー」「シリーズ作品があるお話コーナー」は通年設置とし、残りの1つは毎月のお楽しみコーナーとして「食べ物が出てくるお話」「ひみつ特集」「人権旬間に読みたい本」などを企画しました。



通年設置をしています

毎月変更をしています



#### エ 新刊コーナーの設置

- 新刊図書の表紙を図書室や廊下に掲示し、どのような新刊があるか、分かりやすくしました。また、新刊図書には「新刊シール」を貼り別置にすることで、簡単に検索できるようにしました。

この掲示板を廊下にも置いています



### オ 保護者おすすめの本コーナーの設置

- 保護者に推薦本の紹介を依頼し、推薦理由も記入していただきました。図書室に掲示するとともに、推薦本は平面配置を行い、児童が興味を持てるように推薦本の紹介方法を考えました。



### カ 新聞コーナーの設置

- PTAと連携し購入している小学生新聞がいつでも読めるよう、小学生新聞コーナーを設置しました。古くなった新聞も1カ所にまとめておくことで、効率的に授業への活用ができるようになりました。



### キ 机の配置変更・椅子の変更

- 図書室の机や椅子の配置を見直し、児童が手に取った本をすぐに座って読めるよう配置を工夫しました。また、児童が使用しやすい椅子を購入しました。

## (2) 地域人材の活用（ボランティアとの連携）

### ア 読み聞かせボランティア

- 1・2年生を対象に、5名の読み聞かせボランティアの方に週に1回、全校朝読書（15分間）の時間に読み聞かせをしていただいています。市図書館とも連携し、大型絵本や紙芝居なども使用しながら内容を工夫されています。学校とは年に4回打ち合わせの時間を設けています。

図書室の畳コーナーを活用しています



### イ 学校図書館ボランティア

- 4名の学校図書館ボランティアに図書室の環境整備や様々な企画の立案・実施をお世話になっています。今年度は、新しく「保護者の方への図書貸し出し」や「学年別おすすめの本コーナーの設置」などを実施していただきました。

学年別おすすめの本



## (3) 児童会活動（図書委員会）

### ア 日常活動

- 朝休み・業間休み・昼休みに図書の貸し出しや返却作業、図書の整理を行っています。図書室の開放を1日3回行うことで、児童は好きな時間に図書室を利用することができます。また、1日に何度も図書室を利用する児童もいます。

### イ 月別活動

- 「図書室においてほしい本アンケート」「図書室スタンプラリー」「スリーヒントクイズ」などの取組を実施しました。スタンプラリーでは1週間に30冊以上の本を読んだ児童もあり、読書への意欲が高まりました。スリーヒントクイズは3つのヒントから何の物語か答えるもので、児童集会で発表したこともあり、クイズに出された図書を読む児童が増えました。

## (4) 授業における学校図書館の活用

### ア 並行読書の実施

- 教科書に登場する作者の一覧を作成するとともに、並行読書に活用できる図書を集め、学級文庫に「この作者読もうボックス」を設置しました。また、担任と連携し並行読書教材のブックトークを行ったり、物語のあらすじをまとめ、掲示したりしました。



イ 授業における図書活用の提案

- 国語科や社会科、総合的な学習の時間、図画工作科などにおいて、図書を活用した単元構成を提案したり、担任から依頼された内容に沿って選書したりしました。また、児童の調べる内容に合わせておすすめの図書を提案しました。

ウ 図書室での授業の実施

- 第3学年国語科「本を使って調べよう」の単元では、本校の図書室を活用して授業を行いました。教科書の内容に沿って本校の図書室の仕組みや工夫を伝えることで、授業後は3年生児童が図書室を訪れる回数が増えました。



国語科教科書「この本読もう」一覧 6年

ページ	題名	作者	出版社
<b>カレライス(4月中旬)</b>			
1 30	クローディアの秘密	E・L・カニクスバーグ	岩波書店
2 30	川の名前	川端 裕人	早川書房
3 30	スウィートメモリーズ	ナタリー・モリス	金の星社
4 30	チームふたり	吉野 万理子	学研教育出版
<b>時計の時間と心の時間(5月上旬)</b>			
5 44	元気な顔が君たちの未来をひらく	川島 隆太	くもん出版
6 44	時間の大研究	池内 了	PIPI研究所
7 44	絵とき ゾウの時間と本を読む時間	本川 達雄	福音館書店
<b>森へ(6月上旬)</b>			
8 71	つぎ、なにをよむ?	秋山 順吉	偕成社
9 71	キラキラ子どもブックガイド	キラキラ読書クラブ	玉川大学出版部
<b>イーハトーブの夢(10月中旬)</b>			
10 133	緑河鉄道の夜	宮沢 賢治	偕成社
11 133	グスコブりの伝説	宮沢 賢治	くもん出版
12 133	なめとこ山の熊	宮沢 賢治	三陽堂
13 133	ゼロ強きのゴージュ	宮沢 賢治	三陽堂
14 133	注文の多い料理店	宮沢 賢治	子どもの未来社
15 133	風の又三郎	宮沢 賢治	偕成社
16 133	水船月の四月	宮沢 賢治	偕成社
17 133	どんぐりと山ねこ	宮沢 賢治	講談社
18 133	雪わたり	宮沢 賢治	講談社
19 133	南ニモマケズ	宮沢 賢治	ポプラ社
<b>この森、私はこう見る(11月中旬)</b>			

(5) 児童の読書活動を充実させる取組

ア 「この本読もうボックス」の設置

- 国語科教科書に掲載されている「この本読もう」掲載図書の一覧を作成するとともに、掲載図書を集めて学級文庫に「この本読もうボックス」を設置しました。本校に蔵書がない図書については市図書館と連携し、単元前後に図書を揃えました。

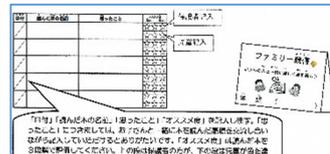
学年ごとに一覧を作成しました

イ 全校一斉朝読書の実施

- 毎朝8時25分～8時40分を朝読書の時間としました。児童は事前に読む本を決め、机の横にかけてある本袋に入れておきます。25分からは全員座って読書がスタートできるように、実施方法を教職員全員で確認し、全校で読書を行う雰囲気づくりに努めました。

ウ ファミリー読書の実施

- 本校ではPTAと連携し、毎週末に図書を持ち帰り、家族で読書活動に取り組む「ファミリー読書」を実施しています。今年度は記録用紙を一部変更し、児童と保護者がどちらも図書のおすすめ度を記入できるようにしました。また、ファミリー読書の活性化を図るため「15分の読書タイム(いちごの時間)」を提案し、静かな環境で読書を行い、家庭読書の推進に繋がられるようにしました。



取組方を保護者にお知らせ



エ 図書ファイルの作成

- 4月に年間読書冊数の目標設定を行い、自分で決めた目標に向かって1年間読書に取り組めます。月末に集計を行い、全校の読書冊数及び達成率を廊下に掲示しました。また、個人の達成率を児童に伝えることで、意欲的に読書に取り組むことができる児童が増えました。



オ 図書だよりの発行

- 学校図書館の情報を発信し、児童が図書室に興味を抱くことができるよう、図書だよりを発行しました。新刊図書やおすすめの図書紹介、別置コーナーの内容変更、学年別図書貸し出しランキングなど様々な情報を発信することで、図書だよりに掲載した図書の貸し出し数が増えました。今年度の図書だよりは、2月末までで18号発行しました。



## (6) その他の取組

### ア 公立図書館との連携

- ・ 綾部市図書館との連携を深めています。ブックトークは各学年学期に1回（年3回）お世話になっています。また、学校図書貸し出しとして、授業に必要な図書を借りたり、選書のアドバイスをいただいたりもしています。今年度は綾部市学校教育研究会図書館教育部小学校部会に講師として図書館司書の方に来ていただき、図書の分類や別置、効果的なレイアウト等についても教えていただきました。
- ・ 京都府立図書館との連携では、セット貸出を活用しました。担任の先生方に積極的に情報を発信したり、どの単元でどのセットが活用できるかを話し合ったりすることで、3つの学年で効果的に活用することができました。

### イ 各種コンクール等への参加

- ・ 「第8回子ども読書本のしおりコンテスト」「第65回青少年読書感想文全国コンクール」「第2回小学生が選ぶ子どもの本総選挙」には全校で取り組みました。また「第49回お話を絵にするコンクール」は図画工作科部と連携しながら取り組み、複数の学年が応募をしました。これらのコンクール等へ参加することで、今まで自分がどのような本を読んできたかを振り返る機会になったり、普段はあまり読まないジャンルの読書に取り組むきっかけとしたりすることができました。

### ウ 小学図書館ニュースの掲示

- ・ PTAと連携し、小学図書館ニュースを購読しています。図書室や廊下に掲示することで、児童の図書に対する興味を広げることにつながっています。



## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・ 図書室のレイアウトを一新し、分類表示の方法等を見直すことで、探している図書をすぐに見つけることができるようになり、児童にとっても教職員にとっても使いやすい図書室とすることができました。また、毎月の別置コーナーを楽しみにしている児童もおり、昨年度に比べ図書室への来室児童や貸し出し冊数が大きく増加し、読書の幅を広げることにつながりました。
- ・ 地域人材を活用したボランティアの方々との連携を深めることで、学校のみでは実施が難しい内容についても取組を進めることができました。
- ・ 担任と連携し学校図書館を活用した授業を実施することで、情報活用能力や言語能力を育むことにつながりました。また、並行読書を実施することで作者に注目して読書をしたり、複数の物語を比べながら読んだりする児童も増えました。
- ・ 学校図書館運営チェックリスト（基本編・発展編）において、年度当初に比べ15項目を改善することができました。

### (2) 課題

- ・ 作者紹介コーナーの設置や掲示物（ポップ・イラスト等）の工夫、テーブルクロスや読書マットの活用等、さらに児童が利用したくなる図書室に向けて取組を進める必要があります。
- ・ 学習センターとして、調べ学習における図書活用を推進するため、学年別の系統的な指導方法を検討し、実践する必要があります。
- ・ 家庭における読書活動の推進を目的としたファミリー読書をさらに充実させるため、取組方法等を変更し、児童・保護者の意識改革も図っていきたいと考えます。
- ・ PTAと連携し、学校図書館とともに、児童に身近な学級文庫の内容を充実させ、朝読書等での読書の質を高めていきたいです。
- ・ 綾部市学校教育研究会等を通じて積極的な情報発信を行い、本校での実践を市内各校に広めたいと考えています。